



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30
- ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 文夫
- ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹 事 / 依田 晋一
- ◆クラブ広報・情報委員長 / 清水 泰男

NO. 1268 平成27年3月10日



◆点鐘	渡辺 文夫 会長
◆SAA	黒澤 明男 委員
◆ソング	奉仕の理想

【会長挨拶】 渡辺 文夫 会長

本日は、美齊津 明会員の自己小伝です。お店を沢山、出店なさっていることをお聞きしておりますので、そのお話をお聞き出来るのを楽しみにしておりました。大変にご苦労様です。よろしくお願い致します。

3月8日より大相撲大阪場所が始まりました。私が中学生の頃、長野県出身の力士は軽井沢出身の大昇と、高校時代は佐久市出身の大鷲が活躍していたのを鮮明に記憶しております。そのあと、小諸より大相撲に入門した力士はいたようですが、番付には乗らず消えました。

その後、長いこと長野県出身の力士は居りませんでしたが、今回、木曾の上松町出身の大道久司選手、(木曾青峰高校・東洋大学出身で学生横綱とアマ横綱の2冠を獲得)が大相撲の出羽海部屋(東京都墨田区)に入門しました。大道選手は、相撲部のあった和歌山県庁に就職が決まっていたのですが、昨年12月、全日本選手権で優勝してから、プロ入りに気持ちが悪く傾いた様です。父親は「プロは体一つの厳しい世界、苦労させたくない」と反対しましたが、大道選手は「あこがれの相撲でやれるところまでやりたい」と説得を続け、最後に背中を押したのは出羽海部屋の出羽海親方から「部屋を再興したい。力を貸してほしい。」と言う一言だったそうです。出羽海部屋は、現存する部屋で9人の横綱を輩出した名門部屋でしたが、現在は関取(十両以上)がいない状況だったので「意気に感じた」ということで入門を決意し、父親も仕方なく納得したようです。

これからは、大相撲の幕下十枚目格付け出しの資格を得ることとなり、仮に七戦全勝すれば一気に幕内(十両)に入る、いわば出世コースとなりますが、果たしてどうなるか、我々は久しぶりの長野県出身力士ですので、一生懸命に応援したいと思います。しこ名は御嶽海に決まりました。以上会長挨拶です。ありがとうございました。

【幹事報告】 依田 晋一 幹事

1. 中川博司ガバナーより「2015~16年度の為の地区研修・協議会」について

日 時 4月5日(日) 10:00~16:00

場 所 松本大学

分科会 次期会長部会・次期幹事部会・次期会員増強部会・次期広報・情報部会
次期職業奉仕部会・次期社会奉仕部会・次期青少年奉仕部会・次期国際奉仕部会・次期ロータリー財団部会・次期米山記念奨学会部会

2. 例会変更

丸子RC 3月26日(木) 定刻受付あり

3. 週報

佐久、佐久コスモス、上田、丸子、上田東RC

・例会終了後理事会

【本日の配布物】

週報 1266・1267号、ガバナー月信 9号、ロータリーの友 3月号

◆委員会報告

・クラブ広報・情報委員会 清水 泰男委員長

ロータリーの友 3月号紹介

◆ラッキー賞

NO. 15 清水 泰男 君

◆ニコBOX 中河 邦忠 委員

橋詰 希望君	2週、続けて休みすみませんでした。結婚記念日、花を楽しみにしています。
小林 秋生君	来週3月17日の夕刻5:00よりそば会が開催されます。大勢のご参加をお待ちしております。
清水 泰男君	ラッキー賞頂きました。
前田 博志君	来期、よろしく願います。
黒澤 明男君	美齊津さんの話しを楽しみにしております。
渡辺 頼雄君	美齊津さんのお話、楽しみに聞かせて頂きます。

渡辺 文夫君	美齊津さん、自己小伝ご苦労様です。
美齊津 明君	ありがとうございました。
青松 英和君	66歳を迎え、欠席予定の例会にふらふらと出席してしまったり、寄る年波を感じる今日この頃です。
渡辺 英世君	いつも欠席で申し訳ありません。皆様の暖かいお言葉に感謝しております。ありがとうございました。
依田 晋一君	職業奉仕の為、早退
神津 恭通君	ニコBOXの担当として入れさせて頂きました。

◆【出席報告】 黒澤 明男 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 3月10日	24	23	事前0名	1	95.65%
前々回 2月24日	24	21	事後0名	3	86.96%

【本日のプログラム】 「自己小伝」 美齊津 明会員



私は昭和32年6月16日、父芳秋、母光江の二男として小諸市八満に生まれました。両親は農業を営んでおり、小さい頃から、田畑や自然と親しむ長閑な日々を送ってきました。

小学校低学年の頃は牛、豚、鶏の飼育も日々経験し、学校から帰ると祖父といっしょに山羊の散歩が日課で、食べる草によってミルクの味が違うこと、排泄物を見て健康状態が分かることなど祖父から、両親からは土づくりの大切さと、作物が実った時の何とも言えない達成感や喜びを経験することができました。共に大切なことは愛情を注ぐこと、ストレスをためない事だと理解できたのはつい最近です。牛や馬に引かせた「うんそう」から三輪トラック、四輪トラック、乗用車と、ラジオ、テレビの普及の頃でした。戦争を知らない私にとって「古き良き時代」だった気が致します。また今は何もして

おりませんが、スポーツが好きで小学校の頃は柔道と野球、中学はバスケ、高校は空手道、大学ではソフトボールとバスケを楽しみに通学をしておりました。

この間、土とも親しんでおりましたので高校からは同好会での活動でしたが、体力と持続力を身に着けることができました。芳光という社名、軽井沢ファーマーズギフトというブランドはこの様な生い立ちの中で生まれた名前です。

卒業後1年間お世話になった上田市の会社を退社し、その年の昭和57年4月に有限会社芳光設立。上田市の会社様も御取引もいただきながら、中古の2tホロウ車、ワゴン車と農業用倉庫30坪からのスタートでした。当時はまだファックスが普及しておらず、配達が終わってからは、電話でお伺いや注文取り、伝票整理の毎日でした。勿論電話はダイヤル式の黒電話です。時間の差はなかったように思いますが、ダイヤルを回して、返しは押し戻していた記憶がございます。ファックスや、ワープロ、パソコン、4輪駆動のワゴン車やトラック、ポケベルや、携帯電話の普及、その時々便利さに感動したものでした。この間私は、時代の変化を感じながら、たくさんの先輩や専門家の皆さんに出会い、ご支援をいただきながら現在に至っております。

節目の30周年には新社屋を建設し移転することができました。個人的には昭和59年結婚、3人の子供にも恵まれ、現在妻と子供二人と一緒に働いております。私にとって激動の、そしてあっという間の33年でしたが、これからもこの感謝の気持ちを忘れずに、分相応に一步一步前進したいと考えております。

今回、小諸浅間ロータリークラブで、偉大な先輩方と同席出来ることは、私にとってとても幸運なことと恐縮しております。まだまだ現役でペいペいですので、欠席も多いかと思いますが、今後ともご指導をいただけますようどうぞ宜しくお願い致します。

次週のプログラム: 3月17日 「青少年活動報告」ガールスカウト長野17団

次々週のプログラム: 3月24日 「近況報告」小諸高校音楽科先生